

宮島地域コミュニティだより



令和7(2025)年3月発行

編集・発行／宮島地域コミュニティ推進協議会

TEL44-2000 FAX: 44-2008

ホームページ <http://miyako.hatnet.jp/>ブログ <http://miyajima1.exblog.jp/>

HP



ブログ

第11回環境標語コンテスト表彰式



1月7日(火)、宮島学園で、環境標語コンテストの表彰式を開催しました。

今年度は、158作品の応募があり、学園の児童生徒経と一般の部から14作品が入賞しました。また、一般財団法人広島県環境保健協会主催の令和6年度環境と健康のポスター・標語コンクールに宮島学園児童生徒の13作品を応募したところ、2作品が奨励賞に選ばれました。

奨励賞を受賞した2人には、トロフィーと賞状と副賞の図書カード、その他の入賞者には賞状と副賞の図書カードを正

木会長から手渡ししました。

このコンテストに参加した宮島学園の児童生徒には入選作品を印刷したクリアホルダーを、一般の方には市指定のゴミ袋を参加賞としてお渡ししています。入選作品は12月7日に開催されたetto宮島交流館まつりでも披露しました。また、来年度、島内10カ所に掲示したり、宮島地域まちづくり交流センターだよりに掲載したりして、啓発活動に活用する予定です。

環境標語コンテスト入賞作品

(一般財団法人) 広島県環境保健協会令和6年度環境と健康のポスター・標語コンクール

★奨励賞

- ・しってるよ きみがぼいすてしないこと
いっしょにちきゅうをまもろうね (宮島学園1年生 山根 佑真)
- ・こわさない しぜんは、すぐにつくれない (宮島学園2年生 福田 つばき)
- *****
- ・だいしぜん のこすもこわすも きみしだい (宮島学園3年生 吉本 奏人)
- ・置いたゴミ 明日のけしきを 変えていく (宮島学園4年生 永田 利正)
- ・ポイ捨ては 環境はかいと 同じだよ (宮島学園5年生 上野 はる希)
- ・陸と海 ポイ捨てすると 自然破壊 (宮島学園6年生 新竹 優太)
- ・ポイ捨ては、未来をよごす 第一歩 (宮島学園7年生 岩田 莉咲)
- ・ごみ拾い 心がければ 心晴れ (宮島学園7年生 佐藤 士元)
- ・宮島を 未来へつなぐ 私たち (宮島学園7年生 山内 小雪)
- ・ポイすてが つみかさなれば ゴミのやま (宮島学園8年生 田中 音羽)
- ・つなげたい 故郷の自然 未来へと (宮島学園8年生 森下 尚紀)
- ・守ろうよ 自然豊かな 宮島を (宮島学園9年生 須磨綺優香)
- ・落ちている ごみをひろう 一手間を (宮島学園9年生 山内あやめ)
- ・ごみ箱も 分けて入れれば 資源箱 (一般 山福 美佳)

(敬称略)

◆餅つき・松明づくり

12月23日（月）に、宮島学園で、餅つきと松明づくりを開催しました。

午前中は、芸能保存会や宮島学園の児童生徒による三味線を伴奏に歌われる「餅つき唄」に合わせて杵（きね）を振り下ろし、おいしいお餅ができました。

午後からは、5年生以上の児童・生徒が、一人一本ずつ、小松明（こたいまつ）づくりに挑戦しました。地域の方々に支援していただいたり、昨年度取り組んだことを思い出したりしながら、なんとか完成しました。早く仕上げた上級生が、手間取っている下級生を支援するほほえましい光景もみられました。

体育館前では、商工会青年部の方々が大松明2本を作成しました。大晦日の夜に、一本は宮島学園の生徒たち、もう一本は商工会青年部で担ぎ、年納めの行事を無事終えることができました。宮島の伝統文化が若い世代へと脈々と受け継がれていることを実感できる取組でした。

◆環境講演会 その1 地域猫活動ってなあに？



2月14日（金）に etto 宮島交流館で、生活環境・福祉部会及び etto 宮島まちづくり交流館主催の「地域猫活動」についての講演会が開催され、20人が参加しました。

地域猫活動とは、野良猫問題を地域の生活環境問題としてとらえ、住民、ボランティア、行政が協働で問題を解決する活動です。

廿日市市の人権・市民生活課の黒川さんから、去勢や避妊手術の費用が助成される制度の説明があり、実際に地域猫活動をされている団体の活動紹介などもありました。

事後のアンケートでは、今後宮島でも地域猫活動を始めるにあたって、協力してもよいと意思表示した人が、5人集まりました。現在、野良猫に餌やりをされている方々の心理的負担を取り除くためにも、見守りグループを結成して、トイレの管理や餌やりの実態を把握しながら、野良猫の去勢や不妊手術をして地域に戻す活動を進めたいと思っています。地域猫活動に参加を検討している方は、次の問合せ先にご連絡ください。

【問合せ先】仮代表：蒲田知美（電話44-0240たち花）

または、宮島地域コミュニティ推進協議会事務局（電話44-2000）

◆環境講演会 その2 宮島のサル問題を考える集い



2月18日（火）に、etto 宮島交流館で、生活環境・福祉部会及び etto みやじままちづくり交流館主催の「宮島のサル問題を考える集い」を宮島ロープウェイと共催で開催し、14人が参加しました。

講師には、株式会社野生動物保護管理事務所の研究員の檀上理沙さんをお迎えし、サルの生態、人身被害を防ぐための対応法、被害対策などについてお話をいただきました。宮島ロープウェイでは、当面の手当として、4月、8月～9月に集中的に追い払いをし、サルが人里に近寄らないように対策をする予定です。

また、数年かけて全頭捕獲を目指しており、そのために群れの行動範囲や頭数などのデータをとるために、出没情報の収集をしているということでした。サルを目撃された場合は、次の問合せ先にご連絡ください。状況を教えていただきに伺いたいとのことです。

【問合せ先】宮島ロープウェイ（電話44-0316）

今年度で退会される団体

宮島さくらもみじの会

宮島幼稚園

宮島幼稚園保護者会

いずれの団体も今年度末で解散です。

長い間ありがとうございました。